

# 愛媛同友会 新聞報道記事

## 企業の枠超え 地域の同期に

四国中央合同入社式

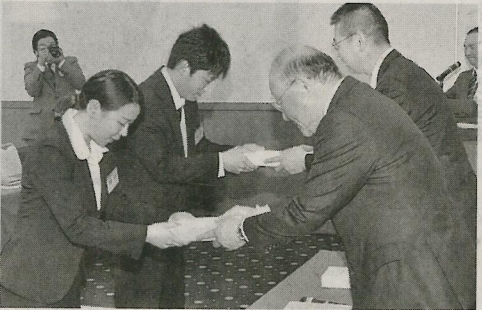
企業の枠を超えた同期の  
新入社員として交流を深め  
てもらうと県中小企業家  
同友会は2日、四国中央市  
三島朝日1丁目のホテルグ  
ランフォーレで四国中央支  
部（会員約80人）の合同入  
社式を開いた。自動車販売  
や建設など市内6社の11人  
が今後の活躍を誓った。

採用者数が少ないため入  
社式を行わない中小企業が  
ある中、節目を祝い、同世  
代との関係を築いてもらお  
うと企画。県中小企業家同  
友会は会員企業の合同入社  
式を2012年度から開い  
ているが、四国中央支部単  
独の入社式は初めて。

式では、同友会の服部豊  
正代表理事が「失敗しても  
新しいことに挑戦する姿勢  
が大切。どういつ人間にな  
りたいか志を抱き、輝いて  
ほしい」と激励。

新入社員を代表し、機械  
工具販売のサトー産業に就  
職した中泉大河さん(18)が  
「まずは自分にできること  
を実行し、それを増やして  
いこうと目標を立てた。た  
くさん学び成長の糧にした

い」と決意を述べた。  
運送業などのアイネット  
に入社した井原真帆さん  
(18)は「信頼され、仕事を  
任せてもらえるようになる  
ことを目指している。同期  
の人との時間も大切にした  
い」と目を輝かせていた。  
(西尾寛昭)



合同入社式で記念品を受け  
取る新入社員ら(左) 2日  
午後、四国中央市三島朝日  
1丁目

愛媛新聞 2016年4月3日